

貫井図書館だより

《40周年記念号》

2025年7月号 Vol. 73

発行者：練馬区立貫井図書館
指定管理者
株式会社図書館流通センター
発行日：2025年7月5日

★貫井図書館 40年の歴史★

貫井図書館は今年で40周年を迎えます！

貫井図書館は、区で6番目の図書館として、昭和60年7月1日に開館しました。建物は1階が図書館、2、3階が美術館の複合施設で、美術の森緑地に隣接しています。

～建物の歴史～



昭和40年代のニチバン工場

昭和54年7月ニチバン工場跡地整備構想で美術館・図書館建設が決定し、翌年昭和55年に美術館・図書館の建設が計画されました。数回に渡って懇談会が開催されたのち、昭和58年に建設が始まりました。そして約14億8900万円の工事費をかけ、昭和60年3月に美術館・図書館が完成しました。



図書館・美術館完成の様子

当時の運営方針には、貫井・向山地区およびその周辺住民に対して、図書・資料を提供するとともに、当館が美術館との複合施設であることを考慮し、美術資料を積極的に収集・整備することが挙げられています。また、開館以来、区民にとって「いつでも、どこでも、誰でも」利用できる図書館を目指して、整備やサービスの充実に努めてきました。

～開館当時と現在のデータ～

昭和60年の貫井図書館の資料所蔵数は72,625点、年間の貸出点数は312,374点と記録されています。令和6年度の最新データでは、所蔵数142,759点、年間の貸出点数は544,623点にものぼり、所蔵数・貸出数ともに開館当時より大幅に増加しています。

～当時の貫井図書館を知るには以下の資料がオススメ！～

- ☆「事業概要 昭和60年度」練馬区立貫井図書館、1986
- ☆「仮称・練馬区立美術館・貫井図書館建設基本構想」練馬区教育委員会、1982

現在の図書館の運営に関する資料

- ☆「練馬区教育要覧 令和6年版（2024年版）」練馬区教育委員会、2024

図書館で
借りられます

写真提供：練馬区

貫井図書館の再整備に伴う施設利用について

練馬区立美術館・貫井図書館は、現在再整備のための実施設計を進めております。工事の開始に伴い、貫井図書館の施設利用は、以下のとおり予定しております。

施設利用（休館開始等）の日程について

12月14日（日）：施設利用（閲覧や視聴覚室の利用）の終了

12月15日（月）～令和8年1月18日（日）（年末年始を除く）

：現施設で予約の本やCDなどの受取・返却のみ実施

1月19日（月）～：現施設の休館開始

2月1日（日）～：仮設受取窓口（※）の運用開始

※予約の本やCDなどの受取・返却を行う窓口です。中村橋区民センターの3階に設置予定。

そのほか、休館中の図書館事業の実施等について、館内やホームページでも掲載しています。調整中の事業に関しては詳細が決まり次第、お知らせいたします。

※やむを得ない事情により上記予定が変更となる場合がございます。

好きな材料で自由に作ろう!

練馬区立美術館情報

ネリビ図工室

日時:7月24日(木)11:00~16:00(受付は15:30まで)

※上記時間内で途中参加・退出できます。

会場:練馬区立美術館2階創作室

対象:小・中学生

※未就学のお子さまは保護者と一緒にご参加ください。

講師:当館学芸員

定員:なし

※事前申込は不要です。

但し、混雑時にはお待ちいただく可能性がございます。

参加費:100円

※お支払いは現金のみとなります。



※ほかにも、「中高生の美術ゼミ」「ネリビこどもワークショップ」などの講座やワークショップ参加者を随時募集しています。詳しくは練馬区立美術館ホームページをご覧ください。

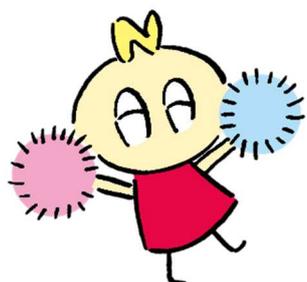
貫井図書館40年の歴史年表を展示中！



現在、美術展示のコーナーにて、貫井図書館開館40周年を記念して

『わたしたちの40年～貫井図書館開館40周年～』の展示をしています。

第一弾では、図書館が開館した1985年（昭和60年）～1995年（平成7年）の10年に焦点を当てました。当時流行したベストセラー本、世の中の出来事も一緒に振り返ることができます。貸出できる関連本も展示していますので、ぜひご覧になってみてください。今後、第二弾、三弾と展示していく予定です。お楽しみに！



ちなみに、めくちゃんはめくいとしょかんにきてから10ねんたつよ！



貴井図書館スタッフのおすすめ本のご紹介



年齢を重ねるごとに衰えてくる認知機能が、日常生活に身近な「食事法」で予防できるとしたら…。食材の選び方から基本の考え方までを分かりやすく紹介しています。毎日の食事から健康で長生きを目指しませんか。

『認知症を防ぐ最高の食べ方 OK 食材、NG 食材もズバリ！』
山根一彦／著
KADOKAWA 2024年



天体観測の歴史や、天文現象の神秘。月・太陽系・銀河、その先の宇宙の謎と不思議を多彩な写真とともに解説しています。熱帯夜には、夜空の先を想像しながら星を眺めてみるのもいいですね。

『知れば得する宇宙図鑑』
高橋典嗣／著
ワニブックス 2024年



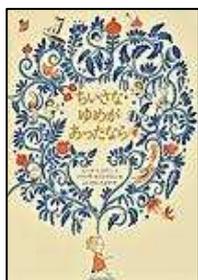
川・海・山などで実際に起きた事故の事例を紹介し、そうならないための知識や技術をイラストや漫画で分かりやすく解説してあります。夏の行楽シーズンを前に、家族で話し合うきっかけになってほしい一冊です。

『これで死ぬ 子ども版』
大武美緒子／文 羽根田治／監修
山と溪谷社 2024年



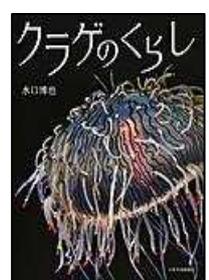
テレビや映画で見るドキュメンタリーは真実なのか？そこには作り手の視点や意図が入り込んでいないのか？様々な有名番組や映画を取り上げ、ドキュメンタリーに存在する加工性を解説している興味深い内容です。

『このドキュメンタリーはフィクションです』
稲田豊史／著
光文社 2024年



小さなお家や庭、さまざまなものに女の子は名前を付けます。名前を付けると、素敵なものでいっぱいになるのです。この本を読んで、一緒に名前を付けてみませんか？あたたかな気持ちになる一冊です。

『ちいさなゆめがあったなら』
ニーナ・レイデン／作 メリッサ・カストリヨン／絵
よしざわたまき／訳 工学図書 2024年



水族館でよく見かけるクラゲ。かれらは、ただ海を漂っているだけではなく、環境に適応するためにそれぞれが特徴を身に付けて生きています。様々な種類のクラゲの生態を詳しく解説した写真絵本です。

『クラゲのくらし』
水口博也／著
少年写真新聞社 2024年

7月・8月の行事案内

- 7/13 (日)「ボクシングと練馬」
※対象：どなたでもご参加いただけます。(事前申込)
- 7/19 (土) 富士見中学高等学校図書委員会連携企画「スペシャルよみきかせ」
※対象：幼児・児童とその保護者(当日受付)
- 7/21 (月・祝)・8/11 (月・祝) 二回連続講座
自由研究を応援 子ども連続講座「宇宙飛行士の生活にせまる！」
※対象：小学1年生～小学6年生とその保護者(事前申込)
- 8/4 (月)「調べることって楽しい！～図書館で作る自由研究～」
※対象：小学3年生～中学生(事前申込)
- 8/17 (日)「親子で学ぶ キッズ・マネー・スクール はじめての投資」
※対象：8歳～12歳までの児童とその保護者(事前申込)

